

3・11被災者は今

100人アンケートから

故郷に戻る展望がない

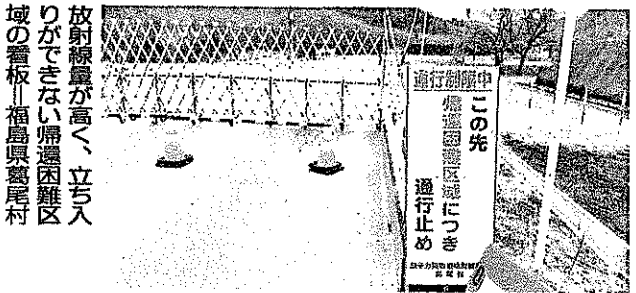
原発事故

被災者アンケートでは、東京電力福島第一原発事故で被災した福島県だけでなく、岩手、宮城両県からも「原発ゼロ」を支持する声

が圧倒的でした。高い放射線量のため故郷に戻れず、避難生活を続ける福島の人たちからは、「戻る展望がない」と諦めの声も聞かれました。

怒りは消えない

事故直後、自死まで考えたというのは檜葉町から避難し、長野県や福島市などを経て1年前に母親が購入した須賀川市のマンションに住む会社員の女性(27)



放射線量が高く、立ち入りができない帰還困難区域の看板＝福島県郡山村

痛めつけられて原発に賛成する人はいない。危険なもの。東電社員が家に来て、汚染水に困っているといっただので、「あんたらが起した事故だ。困っているのは国民の方だ」と言っ

海放出85%反対
福島第一原発から発生している汚染水の海洋放出については反対85人、賛成2人、どちらともいえない13人。3県から一様に反対の声が聞かれました。

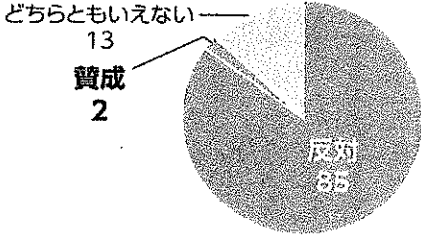
てやった。仙台市宮城野区の女性(68)は「絶対に再稼働してはいけない。浪江の国道を通ったが、家が残っているのに誰も住んでいない。泣きたくなる」とアンケートに答えました。

「汚染水や放射性廃棄物のことを考えないで原発をつくった。流さない方法を考えてほしい」(岩手県大槌町の65歳男性)、「最悪です。兄がワカメ、昆布、ホヤなどをやっている。放出なんてしたら大変なことになる」(宮城県石巻市の71歳女性)、「よくないから放出しないであって来たのに、満タンだから海洋放出するというのはおかしい」(福島県いわき市の75歳男性)

浪江町の自営に戻れないまま大玉村で自営を再建した男性(82)は「こんなに

宮城県石巻市のカキ養殖業者の男性(64)は「いまだに規制値をオーバーすることもある。大丈夫という人は飲んでみるといい。ここに住んでみて、10年たって大丈夫だったら認めてやる。それぐらいの覚悟を持ってやれといいたい」と言い切りました。

汚染水の海洋放出 (%)



二本松市に住むアルバイトの男性(54)は原発事故で会社を解雇され、家計がかなり苦しくなったといいますが、「浪江に帰りたいが、自宅の周りは除染も手付かずで帰れない。国と東電はすべてを元に戻せといいたい。安倍前首相は『復興は

(おわり)